

ふじのくにグローバル人材育成事業 報告書

参加した コース	マイ好奇心探究コース			訪問国	イタリア・英国
学校名	静岡県立静岡高等学校	氏名	味元葉瑠	学年	2年

テーマは「建築から見る世界 with guitar and sketchbook」です。テーマの通りギターとスケッチブックを持ってイタリアとイギリスに留学に行きました。ギターはアコースティックギターです。

最初に様々なハプニングや余談から話させてください。余談といっても学んだことです。

まずイタリアのフィレンツェの空港に着きました。生憎の雨でした。なぜか私の乗った飛行機の人荷物が出てきません。1時間待ちました。早速日本との違いを感じました。さらに私のギターが出てきた際に‘Wow! Guitar?!’と沢山の人が反応してくれたおかげで、自分のやっていることの無謀さと海外の方の明るさを再認識しました。

そのあとも留学中には飛行機が2回キャンセルされた挙句に機体の故障で飛ばないなどなかなかの事件もありました。それでも行ってよかった、また行きたいと思ったのが今回の留学です。特に良かった点はたくさんの方と関わり、自分の世界を広げられたことです。

ここから探究についてです。

1. 音楽
2. 絵画
3. 建築・街づくり
  - 3-1 「素材について」
  - 3-2 「自然の生かし方」
    - 3-2-1 留学中に学んだこと
    - 3-2-2 大学教授の方との対話
    - 3-2-3 大阪万博
4. 今後について



1. 音楽

イタリアにもイギリスにも、路上で演奏している方々が多くいました。イタリアでは道路を通過する音楽隊により授業が中断されることもありましたが、路上での演奏というと、多くの方が、ギター弾き語りを思い浮かべるでしょう。もちろんギター弾き語りをされている方もいました。しかし、イタリアではマイクとスピーカーのみの方がいたり、イギリスでは、バイオリンを弾いている方がいたりしました。日本よりも静かなかんきょうではないので、音楽もより受け入れられていました。

2. 絵画

絵画についても、イタリア、イギリスを問わず、街中の壁に沢山の絵が描かれていました。特に印象的なイギリスの合法グラフィティ・トンネル「Leake Street」について紹介します。下の写真のように壁から床、天井まで絵で埋め尽くされているトンネルです。誰かが描いた絵の上から新たに絵を描くことも可能だそうです。

### 3. 建築

建築については「素材について」と「自然の生かし方」について詳しく説明します

#### 3-1 「素材について」

イタリアのフィレンツェでは大理石が主に使われています。この大理石は物理的な刺激と酸性物に弱いです。酸性物は大理石を溶かします。しかし、イタリアでは鳥が多く（鳥のフンは酸性）さらに地球温暖化の影響も受け、酸性雨が降るようになり、この大理石の建築が課題になっています。ピサの斜塔内部の階段も大理石でできているのですが、よく踏まれるところは凹んでいます。

イギリスではレンガが主に使われています。今のところ特に課題はないです。綺麗なレンガ造りの街並みをこれからも維持してもらいたいです。



#### 3-2 「自然の生かし方」

##### 3-2-1 留学中に学んだこと

Q 街中の自然はどのように置かれている？

A 壁に植物が吊るされている

軽トラックや自転車のカゴに植木や花を入れてあるものが路上に置いてある  
移動販売車でのお花の販売など

Q ヨーロッパで体感した自然の効果とは

A 緑のリラックス効果あり。また、街が賑やかになる→観光に生かせる

##### 3-2-2 大学教授の方との対話

やはり日本で自然を増やすには湿気が大問題。

街路樹や植木の木は自然ではないと思う。結局は人工的に作られた自然である。

教授が思う自然は落葉樹のようなもの。もしも、家の庭、窓際に落葉樹があると、夏は葉をつけ、それがサンシェードとなり室内が涼しくなる。

冬は葉を落とすため、日が室内に入り、部屋が暖められる。

このように元からある自然の原理を生かすのが教授の考える「自然」である。

##### 3-2-3 大阪万博

事後研修で廃棄花をどうにかしたいと話したら、研修グループのメンバーの一人が「万博でも廃棄花を使用した例があるよ」と教えてくれました。そこから調べていくうちにさらに廃棄花に興味を持ちました。

### 4. 今後について

少し探求の大筋からは外れますが、「子どもの政治参加」についてより活発にしたい、問題提起していきたいと考えています。また、「廃棄花」についても活用方法を見つけないです。

今の一番の新たな探求、目標は「建築とホスピタリティの融合」です。

これらは留学に行ったことで磨きがかかったり、見つかったりした目標です。

最高の留学でした。これからも留学で培った力、留学で発見したことをもとに思考を止めず、努力していきたいです。

